

ウガンダ都市部におけるボダボダ（バイクタクシー）の経済的・社会的位置づけ

平成 27 年入学

派遣先国：ウガンダ共和国

大谷 琢磨

キーワード：バイクタクシー，若者，交通，雇用，失業

対象とする問題の概要

近年ウガンダ都市部では、急速な経済発展に伴いボダボダ（バイクタクシー）が急増している。ボダボダとは、バイクでヒトやモノを指定された場所までピンポイントで運ぶ民間交通機関である。首都カンパラでは、人口 150 万人に対して 10 万人のボダ操業者がいると言われている(Raynor, 2014)。ボダボダが増加した理由は 3 つある。すなわち、経済発展によって交通機関への需要が高まったこと、高等教育の経験や特定のスキルを持たない若者でも就業できること(Kisaalita & Sentongo-Kibalama, 2007)、そして中国やインドから安価なバイクが入ってきたこと(Olawo *et al.*, 2014)の 3 点である。しかし、ウガンダ都市部ではボダボダの増加に起因する問題が発生している。それは、交通事故の増加やボダボダの操業者による窃盗、交通渋滞の発生などである。このような状況を改善するため、ボダボダ研究者や行政による様々な取組みがなされている。



写真 1. カンパラ市内のボダボダ



写真 2. 客待ちをするボダボダの操業者たち

研究目的

本研究は、ウガンダ都市部におけるボダボダの実態や位置づけを明らかにすることで、ボダボダをめ

ぐる社会問題の解決のために有効な基礎データ提供することを目的としている。先行研究の多くは、組合や操業者に対するアンケート調査に基づいており、ボダボダによる様々な問題に関する表面的で、ネガティブな情報しか収集していないと考えた。そのため今回の現地調査では、操業者に直接聞き取りを行った。それによって、先行研究や報道では明らかにされていない各操業者の感情や考え等を捉えることを目指した。また、ミクロな視点での調査によって、彼らの抱える課題を精査することができ、より有効な基礎データを提供できるのではないかと考えた。

フィールドワークから得られた知見について

今回の調査は、ウガンダにおける3つの地方都市（マサカ、グル、トロロ）で実施し、以下の3点を明らかにした。1つ目に、ボダボダは地方で生活する人々にとって重要な交通インフラである。地方都市では自家用車の所有者が少なく、首都にある短距離・中距離の乗り合いバスもほとんどないため、ボダボダが唯一の交通機関であると言っても過言ではない。2つ目に、若者にとってボダボダは貴重な就業先である。ウガンダではコネや教育、スキルがない若者が職に就くのは難しい。だが、バイクとその運転技術さえあれば参入できるボダボダは、若者にとって安定した収入を得ることができる手段となっていた。実際、インタビューにおいて、他に就ける職がなかったためボダボダを始めたと回答した操業者が少なかった。3つ目に、ボダボダは若者がステップアップするための足掛かりとなっている。教育やスキルがない若者が高収入の仕事に就くのは難しい。しかし、ボダボダの操業者として働くことで、日々貯蓄をすることができ、新規ビジネスのための資金を準備できる。調査時、マサカで乗り合いタクシーを経営していた男性は、ボダボダ業を営みながら貯金をし、その資金で車を購入して乗り合いタクシー業に転職した。ボダボダ操業者の大半は、それを一生継続するつもりはなく、より高収入が得られる仕事への転身を夢見ている。インタビューでも35人中1人を除いてみな転職を希望していた。以上から、先行研究ではネガティブな面ばかりが取り上げられてきたボダボダも、ミクロな視点で見ると運転手と利用者双方にとって、重要な位置を占めている。

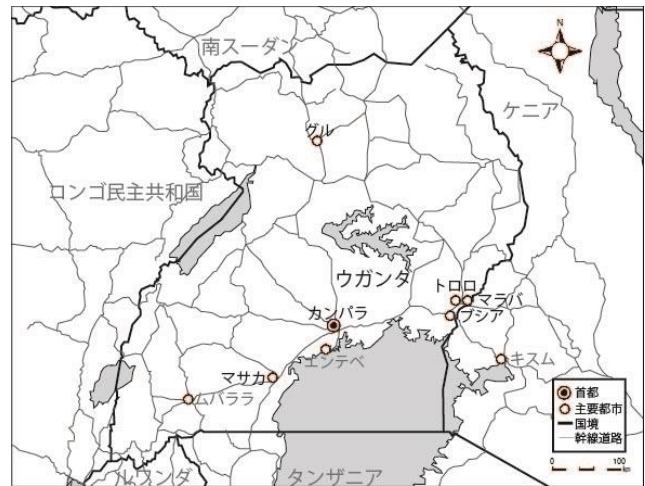


図1. 調査地地図

今後の展開・反省点

今回の渡航では3つの地域で聞き取り調査を実施した。次回は、調査地を一か所に絞り、ボダボダ操業者の生活に密着するなどより彼らに近い視点での調査を実施して、操業者の生活実態や家庭状況などを明らかにしたい。また、本調査ではボダボダの操業者に焦点をあてたが、次回はバイクレンタル業者や、乗り合いバス・自転車タクシーの操業者といった競合相手への調査も実施したい。それにより、バイクタクシーの実態を多面的にとらえることができると考えている。今回は現地語を学びながらの調査であったこともあり、込み入った話までは十分に把握できなかった。次回の渡航では、人々と談笑できるレベルの語学力を習得し、日常会話の中で示される彼らの仕事観や生活観などを探りたい。



写真 3. グル市内のバイク販売店兼修理屋



写真 4. ベッドを運ぶボダボダ



写真 5. 乗り合いバス



写真 6. 自転車タクシー

引用文献

- Olawo, K. W., Isaac, O., Ombok, O. B., & Achieng, F. O. 2014. The effect of increased investment in Bodaboda business on economic empowerment of people in Kisumu west district. *European Journal of Business and Management*, 6(39), 177-184.
- Raynor, B. 2014. Informal Transportation in Uganda: A Case Study of the Bodaboda. *Independent Study Project (ISP) Collection*. Paper 1923.
- Kisaalita, W. S. & Sentongo-Kibalama, J. 2007. Delivery of urban transport in developing countries: the case for the motorcycle taxi service (boda-boda) operators of Kampala. *Development Southern Africa*, 24(2), 345-357.